

向島の催し、ニュースは
愛隣館研修センターへお
知らせ下さい。

向島・愛隣館研修センター ニュース

社会福祉法人 イエス団
愛隣館研修センター
〒612 京都市伏見区向島二の丸町151
TEL (075) 621-3849
発行 平田 義一
編集 馬場園 慎一

おめでとう

ぼくの夢・わたしの夢

土曜学校の子供たち

20人に聞きました

新しい年になりました。「今年こそは」と、夢や希望を新たにしている方も多いことでしょう。愛隣館研修センターでは、土曜学校の子供たちの代表二十人に、心の中にいだいている考えや計画を聞いてみました。元気な声に耳を傾けてやって下さい。最後に、新年おめでとうをいいます。月並みの言葉で申し訳ありませんが、昨年中はお世話になりました。今年もよろしく。
(平田、馬場園)

女子プロ選手

白雪姫

電車の運転手

- ▼看護婦さん。なんて言うてあるけど、言わへんだ。あき(8)
- ▼もう、困るけど……。かけ算、習いたい。(ちか(7))
- ▼お絵かき。(みき(3))
- ▼おぼけになる。チータは足
- ▼お母さんにおこられないよ(き(6))
- ▼飛行機の運転手。(よしゆ(6))
- ▼まだ考えてへんわ。(てるあき(8))
- ▼幼稚園の先生。ピアノの先生。引き算も。(さやか(6))
- ▼電車の運転手。(まみ(6))
- ▼速い。(こうへい(7))
- ▼女子プロレスの選手。(ゆ(8))
- ▼何にもなりたくない。なんでも。なりたくないもの、本当は
- ▼空手の選手とおもちゃ屋の「エリーゼのために」弾きたい。(こけい(8))
- ▼大きいなったら幼稚園に行く。(ともゆき(5))
- ▼社会人になる。(じゅんいち(8))
- ▼うにしたい。(えみ子(8))
- ▼駅員さん。電車好きも。(むねすけ(5))
- ▼ピアノスト。ベートーベンの「エリーゼのために」弾きたい。(こけい(8))
- ▼白雪姫がいい。(あい(6))



お話すウィルキーさん

「人間の無限の力」 ウィルキーさん講演会

生まれながら両腕がない、元国際障害者リハビリテーション協会理事、ハロルド・H・ウィルキー米国会同教会牧師の講演会(主催・愛隣館研修センター)が十月二十七日、向島ニュータウン内の野百合幼児園ホールであった。訪れた約五十人の中には、心身に障害を持った人も多かった。「人間の無限の力」と題して話した。日本基督教団八日市教会の川上潔牧師が同時通訳した。

ウィルキーさんは、特別扱いないし両親に育てられた。足を使って食事し、字を書き、車の運転もする。神学博士号を得、教会の指導者として、障害者問題の第一人者として長年活躍してきた。(2面に関連記事)

「京都市ようだい会」バザー開く



にぎわうきょうだい会バザー

京都「障害者」をもつ兄弟姉妹の会(京都市ようだい会)のバザーが十月二十七日、愛隣館研修センターであった。障害者が自立できるように「限りなく祭りに近いバザー」と題し、同会のほか八団体が合同で、いらなくなった日用雑貨品や無農薬野菜の販売、古本市、映画の上映、ミニコンサートの上演などをした。ニュータウン内の主婦や子供たちが多数訪れた。障害者が自立できるように地域社会を作ろうと、京都市の学校教師と母親が子育てと教育について共に考えようという会は昨年できた。講演会や懇談会などを続けている。

ボランティア手がかり講座

- ◇ 1月22～2月26日の毎週水曜日
- ◇ 日本キリスト教団世光教会で
- ◇ 2,500円、一回のみは500円
- ◇ 申し込みは、当研修センターへ
- ◇ 同実行委員会主催



回	とき	テーマ
1	1/22	「ボランティア」とは
2	1/29	女の生き方 —福祉への参加を通して—
3	2/5	社会福祉の現状と ボランティア活動への参加
4	2/12	自立「障害」者のお話
5	2/19	心身「障害」者とボランティア
6	2/26	地域社会とボランティア

「おっさん」「おじい」じい「……。たまには「おにいさん」と呼ばれたい。(こんいち(25))
▼温泉にでも行って、ゆっくりにしたいわ。(ただし(24))
◇土曜学校◇ 毎週土曜日午後二時から愛隣館研修センターで開かれている。四歳児から小学校二年生まで約五十人が現在、訪れている。聖書のお話の後、ゲームや工作、お絵かき、紙芝居などをしていく。研修センターでは他に、三歳児を対象にした月曜学校(毎週月曜午前十時から)と小学校三年から中学三年までの日曜学校(日曜午前九時から)が開かれている。
向島に住む心身障害者とその母親らで作る「あそぼう会」(連絡先・向島ニュータウン三街区、島崎さん方)が十月十二、十三の両日、くつわ池で、一泊二日のハイキングをした。ボランティアの人たちと合わせ、約二十人が参加した。同会は昨年でき、ニュータウン内の空の鳥幼児園ホールなどで毎月一回、会を開いている。

教育と文化を 考える会も

向島の教育と文化を考える会(連絡先・向島ニュータウン内三街区、加藤さん方)のバザーが十二月六日、愛隣館研修センターであった。地域の学校教師と母親が子育てと教育について共に考えようという会は昨年できた。講演会や懇談会などを続けている。

